

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	身体レベル低下時の併設施設への移行については、入居の際に説明する事が期待される。	レベル低下時の併設施設への移行については、入居契約時に説明する。	医療依存度(入退院を繰り返す)や看護業務が多くなってきたり、既存設備での対応が難しくなって来た時など、レベル低下時の併設施設への移行については入居契約時に説明を行っていく。	12ヶ月
2	40	入居者の尊厳とプライバシー確保が期待される。	入居者の人権、人格を損なわない様に配慮する。	申し送りや会議時、日常的な職員間の伝達等、声のトーンを落としての伝達や、メモを活用するなど個人名が特定されないように配慮する。また、利用者の方に対して、上から目線の言い方やプライドを傷つけるような言葉を発していないか職員間で常に注意を払っていく。	12ヶ月
3	39	災害時の利用者の安全確保のための体制は町と協定を結び地区との連携を図って行くことが期待される。	町や地区との連携を図る。	運営推進会議などで町職員や地区区長などに避難訓練の見学をして頂き、ご意見を受ける事で協力体制の連携をお話していく。 西馬場地区レクリエーション大会の参加など地域行事に積極的に出向くことで地域住民の理解を得る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。